

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいキッズ吉野ヶ里		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 16日		～ 令和7年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 16日		～ 令和7年 12月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	イベント係を中心に児童や保護者に参加したいと思ってもらえるような活動やイベントを取り入れている。	・季節の行事を取り入れ、習わしや言い伝えも子どもたちが理解しやすいよう、絵本や絵カードを使用している。また、興味を持って意欲的に取り組めるよう、役割や担当を担ってもらい成功体験に繋げている。 ・親子イベント時に取ったアンケートから、してほしい活動やイベントのリクエストを聞き取り入れている。	役割やルールを理解し楽しく取り組めるよう視覚的ツールを活用していく。また、定期的に同じ活動を間入れ、難易度やルールを替え、変化に対応できる力を身に付けていく。玄関や事業所内の装飾にも変化をつけ楽しい雰囲気づくりをしていく。
2	支援や特性の知識・理解の向上の為、2週間に1回の勉強会を実施している。	・現場スタッフ側から疑問な点、学びたいことを発信してもらい勉強会を実施している。また、特定の児童を対象に支援内容の共有や特性の理解の為の話し合いをし支援に繋げている。	共有したり学んだことを実践し、評価しさらなる支援に繋げる。改善点は迅速に共有し新たな支援方法を検討していく。
3	毎月のお便りやインスタで、活動への取り組みやイベントの告知、スタッフの様子を発信している。	児童が取り組んでいる活動を投稿する際は、どのような目的で取り組んでいるのか伝わるよう目的を載せている。	児童の様子や児童が取り組む活動をスタッフも実践している動画の投稿を増やし、児童・スタッフ共に楽しみながら取り組んでいること、利用したいと思ってもらえるような投稿をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童一人一人の特性や支援の理解と把握が不十分である	特性や支援内容の理解と把握が追いついていない。職員間で理解度や把握の差がある。	現在、勉強会を実施している為、特性と支援の理解を深めていく。個人ファイルに目を通して情報を得る。勉強会以外に支援会議も実施しているため、対象児童を決めて支援内容の共有と統一した支援が出来るようにする。
2	日々の支援内容でご家庭で出来る支援方法を伝えることが出来ていない。	保護者様への伝え方が分からないスタッフが多い。「伝える」というところまでまだ意識が向いていない。	事業所で支援して出来た事は、スタッフ間で共有し、誰もが保護者様に伝えられるようにする。伝え方を学ぶ機会を作り、ご家庭でも実践してもらえるようにする。
3	外出活動やイベントが少ない	事業所外への活動に挑戦しきれていない。	外出活動(公園や公共施設の利用)が少ない為、身近なところから外出活動を取り入れ、外出経験、マナーやルールを身に付けられる機会を増やす。児童の特性を把握したり、行き先の環境を事前に把握する。あらゆるリスクを想定しスタッフ間で共有して外出活動を実施していく。反省・課題を次の活動に生かしていく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数		
みらいキッズ吉野ヶ里		令和8年 3月 6日				26 令和7年 12月 16日 19枚		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	3	2	1	大人の体感スペースと子どもの体感スペースが違うので・・・	空間を広く使えるよう、物品は常に直してあり、使用するものだけを出している。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	2		4	毎回OTがいるわけではない。	今後の人員配置、採用で検討していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	3		2	マットは引いてあるが清潔かどうかは不明	毎日拭き掃除の徹底を行っている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	2		2		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	3		1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	2				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	1		2		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1		2	家での関わりをもう少しアドバイスしてほしい。療育でせっかく関わってもらっている為、継続したい。レスパイト目的ではない。	利用時の送迎の際に、どのように関わったのか、その効果をお伝えするようにした。自宅を取り組める内容の提案を行っていく。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	2		2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	2			ずっと室内にいる活動が多いと感じる。外への活動が少ない。	公園に行く機会を増やした。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12		2	5		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1			あったと思うが、具体的にどのような活動に結びついているのか初回説明だけでは難しい・・・	インスタや連絡帳でどのような目的で活動を行っているのか記載するようにしている。お迎え時にも口頭で活動の様子を丁寧に伝えていくようにする。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15		1	3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	3				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	2	1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	1		1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	2	1	6		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15			4			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	3				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	2		1	インスタ等で職員の研修の様子が見られるので安心です。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15			4	まだその訓練をする時期に通っていないと思う	前期に避難訓練、連絡訓練実施
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18			1	何か嫌と言ってるんだらうが、何か嫌なのか言語化していないため、今の段階では難しい	子どもたちが興味を持って活動に取り組めるよ活動内容、支援内容の工夫をしていく
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	2			匂いが臭い。独特の臭いがする。汗の臭いなのか、体臭なのか？施設が臭いのか？それを子どもが嫌がっている気がする。	事業所自体の環境整備として拭き上げや換気等は日頃から行っている。汗をかきやすいスタッフに対しては、上司より指導して頂いた。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	みらいキッズ吉野ヶ里				公表日	令和8年 3月 6日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	必要な物を必要な時に出し、基本は片づけて広くスペースを使えるようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		・スタッフの体調不良など、急なお休みが入ると厳しい気が・・・ ・実際に足りていない。休みやマンツーマン対応の時など。応援依頼と採用を計画的に行う
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・段差や障害物がないように環境設定がされている。 ・皆で活動する場所、個別に活動する場所がはっきりと分かれている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の掃除を欠かさず行っている。対策が必要な場所はすぐに対応し環境を整えている。集団と個別での活動が出来るように部屋が分かれている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1		お昼寝をする場所としては十分でない
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	ご相談のアンケートを取り保護者様と話す機会を設けた	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	月に1回の面談を実施。毎週声掛けを行ったり、職員から声掛けがあればすぐに対応しし児童や業務に関することは共有している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	令和7年9月に実地指導済み	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	新人研修、年間研修、児発管研修等を受講する機会があり受講している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ポップや動画を作成したものがあり、契約時に見てもらっている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	聞き取りが不可能な児童に対しては保護者様にアセスメントを行い計画書を作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	アセスメントの記録に目を通すことを習慣づける	検討する機会をしっかりと設けたい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	口頭にて伝えているが、不十分だと思う。	計画書作成時に全員に目を通してもらう。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		確認できていない部分がある。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	主、サブで考えることもある。	主だけで考えることが多く、その補助をサブがして、チームで出来ているとは言い難い
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	運動、食育、成功体験が1週間の中で満遍なく組み込まれている	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別療育で強化したい部分の支援に取り組んでいる	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼時に活動や支援内容を共有し役割分担もやっている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	気になった点等があったら共有している。管理者の勤務時間により重要なことは翌朝共有し検討している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	午前、午後で記録の時間を設けている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	日頃の記録や支援会議での児童の様子をまとめ、管理者または児童のことを理解した者が一緒に参加することがある。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	市町村の障害福祉課との連携、必要に応じて保育園との連携を図っている。	整えているとは言い難い
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	支援会議に参加する機会があり情報の共有を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		今後、そういった活動も取り入れていきたい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時や連絡帳にて児童の様子や変化を報告し共有している	面談の日程を増やしてしっかりと話せる時間を確保したい
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		まずはスタッフの知識・技術を向上させたい	
〇	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	運営規約やリーフレットを使っての支援プログラムを説明している	リーフレットを使って支援プログラムを説明出来るスタッフを育成中
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	アセスメント、支援会議の機会を設けている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	説明をし同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	送迎時に声掛けを行い、お困りごと相談事があった際、その場で回答できることは回答し、時間を設けて話す機会も設定している。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	父母の会はないが、保護者参加型イベントを実施することで保護者間での交流が時折ある。兄弟児と一緒に参加することで交流機会となっている。	保護者間での交流の機会をどんなふうを設定するのか、交流会の内容等を勉強する必要がある。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	その都度対応している。スタッフ間でも周知し、検討が必要であれば検討し保護者に伝達している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月のお便りを発行している。又、利用申込みの際に日々の活動を記載している。Instagramでの活動内容や利用空き状況の発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	管理者の部屋で所定の場所で保管している。出しっぱなしになっていないか確認している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	視覚提示や書面での伝達、難聴の保護者様には、聞こえる側から話しかける対応を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	体験会の案内を地域の公共施設に掲示してもらい、参加募集を募った。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルをもとに研修を受けたり、感染症対応として事業所でデモンストレーションを実施。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	無回答 1	研修受講。連絡訓練を実施。	入職したばかりでわかりません。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	アセスメント時に内服やてんかんがないかの確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	アレルギーがある児童に対しては医師に指示書を書いてもらい提出するようになっている。現在、当事業所でアレルギー対応の児童はいない。	その場の対応になっている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	発生したヒヤリハット、改善点の共有し即改善できる点は先延ばしせず対応している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修受講。声掛け、対応の仕方もその都度話し合っている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	研修を受講。	身体拘束については保護者に説明は出来ていない。	